

WEST

Help

Logout

Main Menu Search Form Result Set Show S Numbers Edit S Numbers

First Hit

Previous Document

Next Document

Full Title Citation Front Review Classification Date Reference Claims IQMC

Entry 210 of 413

File: JPAB

May 16, 1989

PUB-NO: JP401122708A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 01122708 A

TITLE: SPIKE TIRE POSSIBLE TO BE MANUALLY CHANGED OVER

PUBN-DATE: May 16, 1989

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

IWAMA, TERUO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

IWAMA TERUO N/A

APPL-NO: JP62281535

APPL-DATE: November 7, 1987

INT-CL (IPC): B60C 11/16

ABSTRACT:

PURPOSE: To make it possible be a tire as both spike tire and a normal tire by embedding pin in the inside of crests of the tire, and by charging and discharging air through a valve so as to extend and retract the pins from and into the tire crests.

CONSTITUTION: Pins B are embedded in the inside of crests A of a tire, and secured in air holes C, and air is charged and discharged through a valve D. The pins B are pushed up by charged air from the valve D, and are extended from the tire crests A so as to prepare a spike tire. Meanwhile, when air is discharged through the valve D, a tube contracts so that the pins B are retracted into the tire crests A to prepare a normal tire.

COPYRIGHT: (C)1989,JPO&Japio

Main Menu Search Form Result Set Show S Numbers Edit S Numbers

First Hit

Previous Document

Next Document

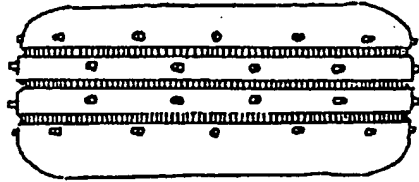
Full Title Citation Front Review Classification Date Reference Claims IQMC

Help

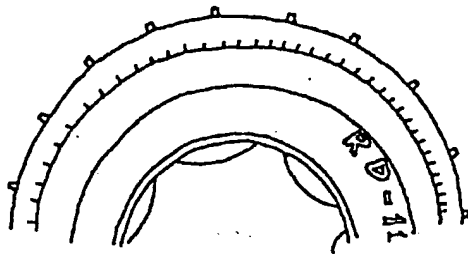
Logout

BEST AVAILABLE COPY

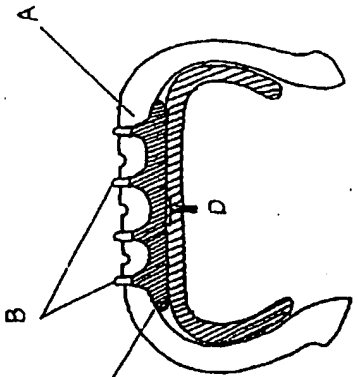
第1図



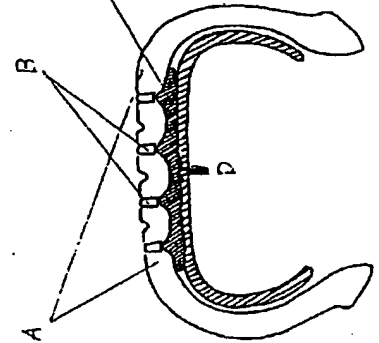
第2図



第4図



第3図



様式5 (願書、明細書、図面等の補正をする場合)

手続補正書(方式)

昭和63年3月2日
昭和63年3月2日

特許庁長官殿

1. 事件の表示 昭和62年特許願第281535号
2. 発明の名称 手動操作による自在使用スパイクタイヤ
3. 補正をする者
事件との関係 特許出願人
住所(居所) 静岡県三戸郡 名川町 御西 大切13-37
氏名(名称) イワ マ テル オ 株式会社 (印)
4. 代理人
住所(居所)
氏名(名称) (印)
5. 補正命令の日付(発送日) 昭和63年2月3日
6. 補正の対象 明細書 発明の名称の欄
7. 補正の内容 明細書の発明の名称を「手動操作による自在使用スパイクタイヤ」と補正する

特許庁
3.7.23

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A) 平1-122708

⑮ Int.Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成1年(1989)5月16日

B 60 C 11/16

7634-3D

審査請求 未請求 発明の数 1 (全2頁)

⑬ 発明の名称 手動操作による自在スパイクタイヤ

⑰ 特 願 昭62-281535

⑱ 出 願 昭62(1987)11月7日

⑲ 発 明 者 岩 間 照 雄 青森県三戸郡名川町剣吉大坊13-37

⑲ 出 願 人 岩 間 照 雄 青森県三戸郡名川町剣吉大坊13-37

明 細 書

1. 発明の名称

手動操作による自在スパイクタイヤ

2. 特許 請求の範囲

スパイクピン用空気孔に空気を充てん又は、抜き去ることにより、ピンをタイヤ外周上部に突出、又は埋没させ、スパイクタイヤと平常タイヤとの 両用にするタイヤ

3. 発明の詳細な説明

この発明は、従来時 にはスパイクタイヤとして使用し、平常路においては手動により、直ち に普通タイヤとして使用することが可能になるタイヤである。

イ。 即ち、スパイクピン取り付け孔に、空気を充てんすることにより孔 がふくらみ、チューブが ピンを押し上げスパイクタイヤとなるものである。

ロ。 又、スパイクピン用バルブをゆるめ、空気を抜くことにより、チューブが下降し、ピン が、タイヤ山 に埋没し

普通タイヤとなる。

従来のスパイクタイヤは ピンを除去すると再使用が困難であつた

本発明は、この欠点を除くために発明されたものであり、普通 タイヤとスパイクタイヤとを手 動によりいつでも両用に使

用可能にするものである。

これを図面について説明すれば、

イ。 図3

タイヤ山A. の中にピンB を埋め、空気孔C. に固定する。バルブD. より空気を注入する。

ロ。 図4

D より注入された空気が、C において、ピンB を押し上げ、A. のタイヤ山より上方に突出し、スパイク タイヤとなる。

4. 図面の簡単な説明。

第1図は、 スパイクタイヤ時の正面図

第2図は、 スパイク タイヤの側面図

第3図は、 空気除去中の普通タイヤ 側面図

第4図は、 空気充てん時スパイクタイヤ 新断面図

特許出願人 岩間 照雄